



ロータリー：
変化をもたらす

宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 樹木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plaza.or.jp FAX 028-666-0333

(2017)平成29年10月10日 No. 3217回 2017～2018年度(第13回会報)

会員数105名出席者62名出席率63.3%

ビジター紹介(親睦活動委員会 堀内委員委員長)

篠崎 靖格様 米山奨学生

会長挨拶

印出井会長



皆様こんにちは。今回はですねガバナー公式訪問ということで非常に多数の会員の皆様にご出席いただきまして、ガバナーも非常に感激しておりました。びっくりと驚いていたようです。本当にありがとうございました。その例会の前に、ガバナーから宇都宮ロータリークラブに対してのご意見と希望が述べられましたので、今日こちらで掻い摘んで述べさせていただきます。まず70周年記念式典をやってほしいということをおっしゃいました。やはりリーダーズクラブですので必ずやってほしいということで、要請を受けましたので私は65代ですから5年後予算面とかそのようなことも着々と積み立てておりますので70周年は是非やってくださいということでした。それからやはり女性会員を積極的に入会をさせてくださいということでした。これは皆様のこれからの合意のもとで入れていけばと思います。それから今卓話でも限界クラブのお話ができましたけれども、10人以下のクラブが5クラブあるそうです。そのうちのあるクラブは8名のうち3組がご夫婦というクラブがあるのです。これがなかなか大変ということ。それから平均年齢が72歳というクラブがあるそうです。これもなかなか活性化ができていないということですので、皆様にこれからもお願いするのですが、会員の増強をお願いしたいと思います。それから東クラブは同好会は15本くらいあるのです。ゴルフの同好会も3つくらい、熱燗クラブやワインの会とか、そのようなものを宇都宮も作ったらどうでしょうかという提案がありました。それからロータリー財団の話で、大体今1人150ドル付加金が出されているのですが、地区補助金でこの150ドルをクリアしているクラブは30万円の補助金が出ているそうです。150ドル以下のクラブは20万円という風に更に付いているので、なるべく目標額をお願いしたい。宇都宮は99ドルということで少し足りないのが現状でございます。それから会費の件ですが、2550クラブの中で88歳以上の人が分担金のみのクラブ、80歳以上の会費が半額、35歳以下のクラブは同じく会費が半額、2

人目の会員はやはり少なくしているというクラブもあるそうです。そのようなご意見もいただきました。それから現況報告書これは私がペッツの時に出了時に思ったのですが、書き方の式次第というのがきちんと決められているんですね。多分宇都宮が作った時にはその規定にのっとって作られていたと思うのですが、今回ガバナーから指摘をされましたので、次期の岡崎エレクトと一緒に来期の現況報告書は少し変わっているのかと思います。95%くらいはほとんど足りない部分、あるいは前後などがあるようですので、その辺を検討したいと思います。それからいよいよ今週末、地区の大会がございます。今の所20名ということですのでまだ大丈夫だと思いますので、もし今日参加できる方はお手を上げて幹事の方に報告頂ければよろしいかと思ひます。よろしくお願ひいたします。以上でございます。

副会長挨拶

町田副会長より

挨拶ではなくて、印出井会長に表彰の方が届いてますのでご登壇ください。レディーファクターの印章。マルチスクールの感謝状ということで贈呈させていただきたいと思ひます。どうもありがとうございます。

報告事項



飯村幹事

お食事を続けてください。本日第4回目になります今年度の理事会が開催されました。理事12名中11名出席。承認事項としては現在の会員数104名スタートでありました。3名の退会がありまして4名の入会、合計現在105名ということでありました。共有事項としましては今週に地区大会があります。地区大会の振替で来週の例会はお休みです。再来週の例会がクラブフォーラムとなっております。まして夜間例会です。本日皆様の元にはファックスでご報告をさせていただきますが、来週の例会はお休みで再来週は夜間例会となります。夜間例会はフォーラムとなりますので、その議案等の協議を行いまして会員増強をメインに後少し2、3個の話し合いと言った議案をフォーラムでやろうと思ひております。それに伴いまして、長期戦略会を会長のご指名で会員になった方には長期戦略会議にご出席いただくようになります。10月24日のフォーラムに先立って10月16日に長期戦略会議が今年度の第一回目の長期戦略会議が開かれることとなりました。あとは各委員長様から、各委員会の報告があると思ひますが、そのご報告がたくさんありました。私の方からは、今年度新たに大塚会員と増淵会員が出席免除会員にめでたくなられましたのでご報告を申し上げます。それとですね、地区大会の参会者が現在22名おられます。ご出席される方は各自でネームプレートをお持ちになるのも結構ですが、当日私の方でもっていきますので今日普通にネームプレートを渡されお帰りになられても結構です。私が当時受付に、皆様より先に行っておりますのでそこでネームプレートをお渡しする形になると思ひます。以上で私からの今日の理事会の報告をさせていただきます。

社会奉仕委員会
明賀委員長



皆様こんにちは。社会奉仕委員長の明賀でございます。社会奉仕委員会から一件ご報告がありますので発表させていただきます。来月の11月4日3連休の真ん中なのですけれども、数ヶ月前にご報告はさせていただきましたが、気仙沼さんま祭りを宇都宮私立中央小学校北側のふれあい広場を使って正式に開催をさせて頂くことになりました。皆様には是非ふるってご参加いただきたいと思います。9時頃からお集まりいただきましてさんまを約2000匹焼いて振る舞うと、後もう一つはですね9月末に気仙沼で交渉してきました、気仙沼のフカヒレスープをご提供。こちらはちょっと有償になってしまうのですが、青少年のインターアクターの力も借りて地域の皆様に振る舞いたいと考えておりますので、さんまの焼き手であるとか当日は不特定多数の方がいっぱいいらっしゃいますので、警備であるとかそのあたりも皆様のお力がどうしても必要になるので、最初から終わりまでというわけではなくて午前中だけとか、または午後だけとかでも構いませんので、皆様には是非当日現地に足を運んでいただいて、さんまとフカヒレスープのお祭りを成功させていただきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。以上でございます。

親睦活動委員会
矢治委員長



度々すみません。親睦活動委員会矢治でございます。親睦活動委員会の事業を本日の理事会でご承認いただきましたので、皆様にご案内をさせていただきます。ゴルフコンペとクリスマス例会なのですが、改めてもちろんご案内状は出しますが皆様ご対応だと思っておりますので、今のうちに日程を取っておいて頂ければと思っております。まず親睦ゴルフコンペが11月23日の祝日、会場は宇都宮カントリークラブで行います。現在6組予約しておりますので、また表彰式等は夜改めて会場をご案内致します。またゴルフはしないけれどそちらの表彰式懇親会の方にだけご参加いただける方も大歓迎です。改めてご案内をさせていただきます。またクリスマス例会ですけれども今年の最終例会日12月19日の夜に18:30から例会を開始して、その後例会終了後クリスマス会を開催させていただきます。会場はこちら当ホテルのグランデで行わせていただきます。これもまた正式にご案内を出させていただきますけれども。11月23日祝日ゴルフコンペと12月19日のクリスマス例会を皆様のご予定に入れて頂ければと思っております。また今後ゴルフ以外の企画親睦会も企画してご報告させていただきたいと思っておりますので、どうぞご参加よろしく申し上げます。以上です。

ニコニコボックス委員会

金成委員長より



皆様こんにちは。ニコニコボックス委員会の金成です。本日いただきましたご奉仕をご報告致します。まず本人誕生祝いとして佐山涼一会員。10月9日で前期高齢者となりました。年齢は変えられませんが、精神年齢30台、肉体年齢40台、見た目年齢50台を目指して頑張りますということです。同じく本人誕生祝い。佐野瑛一会員。私かなりでございます。結婚祝いとしまして木村昌幸会員、三原康志会員、藤沢智会員、増田なかお会員、忘れていた結婚記念日を思い出させてくださりありがとうございます。というコメントを頂いております。菊池まさとし会員。最後に私かなり、本日25周年を迎えました感謝ですというメッセージを送ります。奥様誕生祝いとしまして、菊池会員、三原康志会員、近藤会員です。会員としまして近藤会員、藤井正一会員、和田会員、明賀一博会員、小島克行会員、本日は以上でございます。ありがとうございました。

例会プログラム紹介

松本委員長より



皆様こんにちは。本日の卓話のご紹介でございます。10月は米山月間ということで本日はそれにちなみまして、米山奨学金のシャウチンクーさんにお越し頂いております。ご本人の経歴を簡単にご紹介致します。ご出身は台湾です。2011年からTBC学園日本語学科、2013年～2017年に帝京大学で医療技術学部、2015年～2017年が米山小学生ということでした。そのあとも2015年からは彼らの青少年研修を終えられ2015年からインターアクトプログラム台湾のサポートもしておられます。そして2017年4月1日から足利赤十字病院に入社されまして現在医療事務の仕事をしていらっしやいます。それではご本人には引退ロータリーライフということでお話をいただきますが、ご本人のお話の前にも足利赤十字病院にもゆかりの深い草野先生からも一言お願いできればと思います。よろしくお願い致します。

草野先生

今松本委員長からゆかりの深いというふうに言われたのですが、全然ゆかりが深くなくて。ゆかりが深くないといえば嘘になるのですが、全然あの病院を経営している立場ということから足利赤十字病院の松本委員長とそれほど親しくもしてなかったのですが、ごめんなさい。実はですね、1年ほど前に松本先生の病院協会というところで講演をいたしまして、これが非常に良かったのですね。メディカルツーリングと言いまして、皆様ご存知かはわからないのですが、海外の方を主に中国の方が多いのですが病院で受け入れて検診をしたり癌の発見だとか治療だとかそういったことに結びつけるということが足利赤十字病院は非常に盛んで、世界でもナンバーワンクラスの病院だとランキングされているのですね。それで、実は1年ほど前にロータリークラブでシャオチーチンクーさんが講演をされた時に熊本さんの方から米山小学校の方から来年日本で働くことがなければ国に帰るか瀬戸際だったのですね。僕は非常に軽い気

持ちでシャオチーさんの非常にパワフルなパワーに感激しまして、彼女の帝京大の医療関係の仕事をしていたということで、病院が良いのではないかとということで松本先生と連絡を取りましたら、いつ会っても良いということであったらものすごく気に入ってくださって、シャオチーさんのことは非常にクリアで日本語はうまいし中国語はうまいし英語はうまいしということで、彼女の魅力に魅せられたという格好で、めでたく足利赤十字病院の方に4月から入職できて仕事ができることになったということです。どうぞよろしくお願い致します。楽しみにしております。

卓話

篠崎 靖格様



皆様こんにちは。当クラブには1年ぶりです。ようやく去年は米山小学生としてここで米山の自分のロータリーライフについて語っていただきましたので、今回もお招きしていただいて本当にありがとうございます。また社会人1年目になってから4月から10月です。ちょうど半年くらいの時間で、私のロータリーライフはどう変わっていったかを報告させていただきます。では、先にも紹介いただいたように私はもともと日本に来る前に日本語は話せるわけではなかった。日本に来てからあいうえおから日本語を学び始めました。すべてのできる言語の中で日本語が一番最後に習った言語で一番使っている言語でした。もしかすると自分の会話の能力は荒んでいるかもしれないです。先の紹介によって足利赤十字病院で働いています。私の大学卒業した写真がこちらにありますので、一番卒業の中で本当に大きな病院で仕事している人はいなかったのです。自分だけが地域の足利正十字病院に勤めました。なかなか当クラブとは縁があって草野先生とつなぎ合わせて今の私のボス松本先生にお会いになってこちらの病院に入りました。すごく大きな病院ですので色々な活動をしました。ちょうど去年の写真なのですが私はもともと米山小学生で最後の修了証を頂きました。それが当時の写真です。右下の写真が私の隣に立っている方が私のカウンセラーでした。あまり結びつかないのですが、自分のカウンセラーももちろんサポートしてくれたのですが、クラブの方々にお世話になったことが大きかったかもしれないです。現在私が勤めている病院がこちらです。主な仕事は医療事務の仕事なのですが、入ってみたら自分の仕事は何をやれば良いのかわからなくて、自分の先輩に色々話を聞いてみんな入社当時にとっても噂になっていたのは、先生の紹介によりこの子は5ヶ国語が話せると。書いてないのにとても大きな話になってしまったなと思っています。一応話せるのですがすべて完璧というわけではありませぬので、なるべく謙虚で行きたかったのですけれども、修身1年目で紹介されていてちょっと照れくささも感じながら今のところはすごく頑張っております。草野先生も紹介して下さった、じゃこと同じくらいというよりは真ん中くらいを求められるものが一緒にjciというコミッションインターナショナルというものがあって、最初併設した時に松本先生とメディカルツーリストというものを環境で語り合っただけで、すごく見てる方が似てると思ひまして、この病院もお金持ちの患者が多くてもしかすると私がここで働いたらいろいろないい経験が積めるのではないかなと思ってこの病院に決まりました。先生に好かれてとても光栄です。もし草野先生が一年前にもし

たくあしなかつたらこの機会に恵まれなかつたと思いますので、この会で活動できることがとても光栄だと思っております。また色々な方と出会い自分の社会人1年目の濃い内容で勉強させていただいております。先ほど話しましたようにコミッションインターナショナルをちょうど先週病院で1単位でとこのためにたくさんの活動がありました。アメリカでサンペアさん達が来て施設を見学します。見学だけじゃなくいろんなアドバイス様々改善する点をすごく指摘を受けました。それを頑張って治してから来年の2月にホンスールがあります。私入ってまだ半年でこの件で呼ばれて、通訳をしてくれマネジメントみたいなことをしてあげなさいとメールが来ました。入って間もなく半年の私が本当にこれで大丈夫ですかねという感じで承りました。なかなか間もなくすぐこの件に携われるということがとても信頼されているということもあるし、自分にとってもなかなかの経験だと思っております。入って早速色々な活動がありまして、病院に入って私の主な活動的には、今左上に見えている写真がみんな台湾から来ている看護師さん達です。この病院で国際の受け入れが多くて、海外の研修生を受け入れていて日本の医療がどういうことをやっているのでしょうか、日本と台湾では何が違うのかということをもみんなに勉強させていただきました。台湾だけではなくイギリス、オーストラリア、アメリカと今現在オーストラリアの方もいます。この子達が自分となじみがあって、言語が通じるので何かあれば発して私のところへすぐ聞きにくるのですけれども、ちょっと医療ジャンルに関してはちょっと違っていて、できることで自分のできることが強みですので見学の通訳に関するいろいろなサポートをしてあげました。この子達もとても可愛いので、行く前にこのような手紙を頂きました。実際は受け入れる病院に力が入ってしまっていて、地域の新聞に載せていただきました。とても自分も台湾出身として実習生が受け入れて新聞に宣伝をしていただいていることがとても感動しております。左上に見えている写真が今現在受け入れている子たちです。アメリカの後、オーストラリアの方とイギリスの方です。みんな看護師さんとお医者さんを目指している卵ですが、毎日日本語のために頑張っています。自分ももともと米山小学生ですので、病院の仕事だけでなく卒業をした後に学業としてどういう活動をやってきたのか後に紹介させていただきます。自分の当クラブは台湾との交流がありまして、自分も仕事しながらなるべく空いている時間にこちらの会に手伝いをすることができるように頑張っています。他のクラブでも台湾とのつながりがあるクラブに、自分の言語脳力を生かして活動しています。すごく色々な活動をしている上で、自分の通訳がキャリアの経験を積んできてスムーズに行えました。次の代に育つためにはこの前一緒に行ったわきちゃん、台湾と日本のハーフなのですが通訳の件はその子に託して、できるだけ私は後ろでサポートできるように一緒にインターアクトの活動にも触れました。卒業した後に引き続きインターアクトの研究会にも出席していただいて、その日はちょうどソーラン節を高校生たちと一緒に踊りました。なかなか大変なもので膝がガクガクでとても大変でした。そのあと間もなく熊本さんからタイの消防車を起動することで、どうしても英語ができる方であったら手伝いをさせていただきたいということでお手伝いできました。私はタイのことにしましては全く詳しくないですし、消防車を起動する活動がどういう活動なのか熊本さんから聞いて、結構良いプロジェクトでしたので、自分もこの件に触れてみたいなと思いついて受け入れました。タイに行く前日がちょうど当直だったので、病院の仕事では当直というのは利便性があるってちょうど運が悪くその日が当直で翌日に飛行機に乗っ

てタイに行きました。日本語から英語の変換が多くて聞き取れるのがやっとなで日本語に変換するのがちょっとやっとなで大変でした。なかなか良い機会でプロジェクトの内容も勉強させていただきました。実際最初に視察に入ったところ、みんなタイ語しかわからない方が多くて英語で通じるのか心配でもありました。元会長が英語の通じる方でしたのでとても助かりました。元会長の隣の田中さんなのですが、日本の方ですごく日本語ができるので色々手伝ってもらいました。この方と一緒にタイの起動プロジェクトの手伝いをさせていただきました。最後帰るときに飛行機で撮った写真なのですけれども、タイから帰ってきた後にちょうど栃木先生から台湾の人たちが来ていると、手伝いしてもらえませんか、早速次の次の日に本当にこの半年の中で日本語台湾後中国語と交えて仕事だけではなく色々な方の手伝いをしに行きました。色々な経験を積んできてから自分がとても感じたことは、バージョンアップしていかないといけないなと思いつながら、ちょっと足りていないと思います。日本語だけでなく、日本語から英語に変換が病院でもますます色々なクラブにも必要になってくるのではないかと思います。様々なクラブで卓話することによっていろんな人に注目されまして、色々な機会を経験させていただきました。すごく大変で貴重なことをさせていただいたということがこの半年の結論です。今の所、病院の仕事は忙しくクラブの活動にも来年に託されたことがあります、また引き続き来年にも何か報告できればと思っております。私の報告はここまでです。ご静聴ありがとうございました。何か他に質問や気付いたことがありましたら。去年が長すぎ、今日は二次会があるのは聞いていなかったもので、出た方がいいのかなと思いつながら、時間が余ってしまいました。

(司会) どなたかご質問ありますでしょうか？

結構簡易にまとめさせていただきましたので、半年だけなのですが病院の仕事では医事課に主に所属させていただいておまして、主に同じ医療事務が行う事。例えば保健医療の算定とか病名とか先生たちのサポートとか。私が他の医事課の人とやっている事が違う点は、患者の通訳もやります。今の所私には、医療通訳士という資格はあるのですが、自分はまだそれは取得してなくてよくよく考えてみたら本格的にそのようなことをやるならばそれも目指した方が良いのかなと思いつながら、自分の糧にもなるし、単に通訳をやるという簡単な考え方では危ないと思いつました。先生たちも英語ができる方がほとんどですので、今のところは社会人1年目で 大変なことを感じたのは、先生と患者の間に入って通訳をやるのはなるべく一番近い言葉でいかに話せるか。もし患者さんが手術することによって、日本とのコンセ ント、いかに患者さんにわかりやすく説明するのかということと、先生にこういうことを話して良いのかということが日々の勉強になっています。さらにはバージョンワークというのは病院の中で普通に話せるだけでなくよりわかりやすく伝えるために、これからの毎日の勉強だなど感じています。半年の経験です。

今日の食事



- ・カツカレー
- ・サラダ
- ・福神漬け

10月24日 夜間例会 第1回クラブフォーラム※卓話なし
会報委員 増田直樹委員
写真 小林健二委員

: メールアドレス u-rc01@silver.plala.or.jp

下記URLをクリックすると会報バックナンバーが表示されます

<http://www.u-rc.gr.jp/kaihou/web3.htm>